

FUKUTAKE  
EDUCATION AND CULTURE  
FOUNDATION

—

穂子ども会

2020 年度

# 教育文化活動助成 申請書

申請日	2020/01/24	※タブから選んでください。	
ふりがな 団体名 《個人申請の方は氏名記入》	さいこどもかい 穂子ども会		団体種別 ※活動母体の種別にチェック <input type="radio"/> 個人 <input checked="" type="radio"/> 地域団体 <input type="radio"/> NPO <input type="radio"/> 学校園 <input type="radio"/> 公的機関 <input type="radio"/> その他
WEB・facebook	https://saikodomokai.blogspot.com/		
ふりがな 代表者名 《個人申請の方は記入不要》		TEL	なし
携帯			
E-mail			
FAX		なし	
住所 《団体申請の方は団体所在地》 ※書類等の送付先	※ 自宅以外の場合は、住所の機関名（法人名、学校名等）も必ずご記入ください。 〒		
ふりがな 申請書記入者 ※申請書に不備があつた場合の問合せ先		TEL	なし
携帯			
E-mail			
FAX			

▼貴団体または個人の活動全体について記載してください。

設立年月（西暦） ※個人の場合は活動開始日	1985 年 4 月～		当財団助成歴 ※該当にチェック	<input type="checkbox"/> 2019	<input type="checkbox"/> 2018	<input type="checkbox"/> 2017	<input type="checkbox"/> 2016	<input type="checkbox"/> 2015
主な構成メンバー ※団体のみ記入	氏名	所属・職業	氏名	所属・職業				
			総人数	56 名				
設立趣旨・目的 ※個人の場合は活動趣旨・目的 【100 文字以内】	本子ども会は会員相互の親睦と修養を深め、子どもたちが地域社会とともに健全な育成を図ることを目的とする。							
これまでの主な活動 【150 文字以内】	本子ども会は岡山市中区 穂、穂東町の世帯を中心とした子ども会で、現在は他の地区からも入会が可能になっている。子ども会自体は数10年存続しているが、ここ数年の主な活動は子供、保護者ともに地域行事への参加と、収益確保の廃品回収、維持・継続するためのお楽しみ会等（年4回）のみとなっている。							
2020 年度 全体の活動計画 ※定例・準備・反省等の会議 を除く活動計画	月	活動・研究の内容	月	活動・研究の内容				
	4	新入生歓迎会	10	地域運動会、町内秋祭り参加				
	5	廃品回収	11	廃品回収				
	6		12	クリスマス会				
	7	廃品回収、町内夏祭り参加	2021/1	廃品回収				
	8	夏のお楽しみ会（申請活動）	2					
	9	廃品回収	3	廃品回収、6年生を送る会				
	2021 年度の 活動計画 【100 文字以内】	年間定例事業（何らかの助成金申請が可能であれば特別事業として体験学習等）						
2022 年度の 活動計画 【100 文字以内】	年間定例事業（何らかの助成金申請が可能であれば特別事業として体験学習等）							

ご記入内容は、当財団の助成事業に関する資料としてのみ使用します。

▼助成金を充てる活動(申請活動)について記載してください。

申請活動名 ※タイトル【30文字以内】	<b>星空観察で感じて考える光害と利便性-最</b>		
助成金希望額 ※上限 30万円	<b>19 万円</b>	助成対象となる活動（申請区分）※タブから選んでください。	
<b>田舎と城県</b>  <b>事業種類</b>  <b>■実施内容 (①いつ ②どこで ③だれが ④だれと ⑤なにを ⑥どうする が分かるように) 【500文字以内】</b>  ■関係者（他機関との連携状況）	<b>② 教育及び文化芸術による、次世代育成に取</b>  <b>活動により、めざす社会像について、具体的にご記入ください。【200文字以内】</b>  現在の小学生はインターネットやソーシャルメディア（以後ネットメディア）など、ネットメディアに触れる頻度が高く、エコーチェンバー、フィルターバブルなど自分で意図せずとも偏った情報、意見に多く触れている。結果、ネットメディアに流れる意見も極端化していると感じる人が存在すると言う報告もある現在で、「自分自身で最適なバランスを取った意見」を考えるきっかけとなる。		
	<b>活動を実施することで、何がどのように変わりますか。箇条書きでご記入ください。【各 300 文字以内】</b> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>Before（現在の状況・課題）</span> <span>After（実施後の状況）</span> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;">           調ることが多く、多面的な意見が同時に流れる場面は少ない。             • 多面的な意見が大切と説明しても、児童は多面性を実感することが少ないと理解がしづらい。             • 小学校でも発表を行う場面もあるが、ディスカッションが行われているとは言いづらい。         </td> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;">           • 星空観察から光環境の違いと夜空への影響を実感できる。            • 光環境、自然環境、住環境、本人背景など複数の要因が重なった場合、答えは一様でないことを実感できる。             • 各自分が、複数要因を継続させるためにバランスが取れていくと思う条件を考えることで多面性について理解しやすくなる。             • 保護者も一緒に発表を聞き、質問することで自分の意見、想いを伝える場を作ることができる。         </td> </tr> </table>		調ることが多く、多面的な意見が同時に流れる場面は少ない。  • 多面的な意見が大切と説明しても、児童は多面性を実感することが少ないと理解がしづらい。  • 小学校でも発表を行う場面もあるが、ディスカッションが行われているとは言いづらい。
調ることが多く、多面的な意見が同時に流れる場面は少ない。  • 多面的な意見が大切と説明しても、児童は多面性を実感することが少ないと理解がしづらい。  • 小学校でも発表を行う場面もあるが、ディスカッションが行われているとは言いづらい。	• 星空観察から光環境の違いと夜空への影響を実感できる。 • 光環境、自然環境、住環境、本人背景など複数の要因が重なった場合、答えは一様でないことを実感できる。  • 各自分が、複数要因を継続させるためにバランスが取れていくと思う条件を考えることで多面性について理解しやすくなる。  • 保護者も一緒に発表を聞き、質問することで自分の意見、想いを伝える場を作ることができる。		

▼収支計画（2020 年度の見込額）※助成金希望額、収支合計額（色つきの部分）はそれぞれ同額になることを確認してください。

### 【収入】

団体または個人 全体の収入（万円）		
(A) 助成金希望額	19	
当財団以外の助成金	1	
補助金	8	
(B) +(C)		
協賛金		
事業収益	15	
団費・会費等	1.5	
合計=(A)+(B)+(C)	44.5 万円	

### 【支出】

申請活動全体の支出				申請活動以外の支出	
助成金希望額の内訳		当財団助成金以外の支出			
費目（使途）	金額	費目（使途）	金額	費目（使途）	金額
印刷費	1	協力者交通費	4	運営費	3
消耗品費	1	協力者会場費	1	事業費	15
会場費	6.5			消耗品費	1
児童交通費	4.5			雑費	1.5
材料費	6				
計(A)	19 万円	計(B)	5 万円	計(C)	20.5 万円
合計=(A)+(B)+(C)				44.5 万円	

助成金が必要な理由を、使途と関連づけてご記入ください【200 文字以内】

穂子ども会として体験学習も行いたいと思っているが、現状では予算面から団体を継続維持するための定例事業しか行えていない。  
そのため、申請活動を行うにあたって児童30人分の会場費、会場までの公共交通機関費用、必要機材（正座早見表、簡易望遠鏡）、資料、グループワーク用材料費が必要となる。参加費の徴収も行うが、保護者の関心が低くとも気軽に参加できるよう可能な限り低い金額としたい。

### ▼申請活動に対する他の助成金や補助金（他の助成金等があっても審査対象となります）

助成・補助金機関名	助成額	状況	助成・補助金機関名	助成額	状況
	万円	決定済		万円	

審査の対象となる申請内容は以上です。

### ◆ 教育文化活動助成アンケート調査 ◆ ※ご回答いただきました内容は審査とは一切関わりございません。

#### I. 福武教育文化振興財団について ※複数回答可

- 名前は知っていた       事業内容(助成や表彰など)を知っている       機関誌「FUEKI」を読んだことがある  
 毎年1月に開催のフォーラム「ここに生きる、ここで創る」に参加したことがある  
 財団の公式webサイトをみたことがある       andF教室に参加したことがある       存在を知らなかった

#### II. 公募助成について

##### 1. どこで知りましたか ※複数回答可

- 当財団公式webサイト       当財団公式facebook       行政・教育委員会の窓口       新聞記事  
 募集要項(置いてあった場所： )       「みんなの活動」官民合同資金調達セミナー&相談会  
 知り合いからの紹介       その他( )

##### 2. これまでに公募助成に申請したことがありますか

- 初めて申請する       採択されたことがある       申請したが、採択されたことはない

##### 3. 今回の申請方法について

- 申請しやすい       申請しにくい(理由： )

#### III. その他ご意見・ご感想 ※申請書を記入してお気づきになった点、公式webサイト内容の感想など、自由にご記入ください。

申請日のタブが出ませんでした。